

PRSJ NEWS

2023年6月号 No.352



PRSJ 通常総会での理事・監事集合写真

TOPICS

MESSAGE

理事長挨拶

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会 理事長 牧口 征弘

P3

6月入会の皆様のご紹介

P4

ATTENTION

「2023 PUBLIC RELATIONS YEARBOOK」発行しました

P6

REPORT

2023年「PR業実態調査」の結果を発表

P13



公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

発行人：理事長 牧口 征弘

目次

6月~7月スケジュール		P1
MESSAGE(メッセージ)	理事長挨拶	P3
新入会員紹介ページ	6月入会の皆様のご紹介	P4
ATTENTION(お知らせ)	第12回「通常総会」「懇親パーティ」開催報告	P5
	「2023 PUBLIC RELATIONS YEARBOOK」を発行しました	P6
〃	「ニュースリリース入門ワークショップ」を6月23日に開講	P7
〃	「メディアリレーションズ入門ワークショップ」7月6日に対面講座として開講	P8
〃	「PRプランナー試験対策講座」を通年開講中	P9
	第34回1次試験 申込み受付中	P10
BULLETIN(活動報告)	第49回「PRスキル研究会」開催報告(会員限定)	P12
REPORT (レポート)	2023年「PR業実態調査」の結果を発表	P13
PRSJ in MEDIA	掲載情報	P17
事務局だより		P18

6～7月 セミナー・イベント スケジュール

【オンライン】

パブリックリレーションズ入門 Web 講座 2023 日 時 : 通年開講
講 師 : 東京都市大学 都市生活学部 / 大学院環境情報学研究所
准教授 北見幸一氏他、全9名

【会場開催】

ニュースリリース入門ワークショップ 日 時 : 6月23日(金) 13:30～17:30 (開場 13:10)
テーマ : 実践! 新任広報担当者のためのニュースリリース作成と活用
講 師 : (株)共同通信PRワイヤー 営業部営業企画課 次長 西林祐美氏
会 場 : ミーティングスペース A P虎ノ門「Iルーム」

【オンライン】

インボイス制度・改正電子帳簿保存法説明会 日 時 : 7月3日(月) 16:00-17:30 (サイトオープン15:50)

【会場開催】

PR業ワイガヤ会 日 時 : 7月4日(火) 19:00 ~ 21:00 (受付18:45～)
テーマ : アフターコロナのPRってどうなる? ~カンヌの速報も含めてリアルで語ろう～
講 師 : (株)電通PRコンサルティング 執行役員 井口 理氏
(株)博報堂 執行役員 / 博報堂ケトル クリエイティブディレクター・編集者
嶋 浩一郎氏
(株)本田事務所 代表取締役 / PRストラテジスト 本田哲也氏
(株)井之上パブリックリレーションズ 執行役員 尾上玲円奈氏
会 場 : FIORIA ariablu (フィオーリア アリアブル)

【会場開催】

メディアリレーションズ入門ワークショップ 日 時 : 7月6日(木) 13:30～17:30 (開場 13:10)
テーマ : 新任広報担当者のためのメディアリレーションズ
～現場の疑問に応えるメディア対応の実践入門～
講 師 : (株)マテリアル マーケティング PRトレーナー / 認定企業危機管理士
田代 順氏
会 場 : 六本木アカデミーヒルズ「カンファレンスルーム7」

6月～7月の理事会・委員会・部会スケジュール

◇定例理事会	(6月度)	日時	: 6月8日(木)	16:00～17:30
		会場	: 事務局+オンライン	
	(7月度)	日時	: 7月13日(木)	16:00～17:30
		会場	: 事務局+オンライン	
◇教育委員会	(6月度)	日時	: 6月22日(木)	14:00～15:30
		会場	: オンライン開催	
◇資格委員会	(6月度)	日時	: 6月22日(木)	14:00～15:30
		会場	: ハイブリッド開催	
◇国際・交流委員会	(6月度)	日時	: 6月2日(金)	16:30～17:30
		会場	: オンライン開催	
◇広報委員会	(6月度)	日時	: 6月22日(木)	16:00～17:00
		会場	: オンライン開催	
◇顕彰委員会	(6月度)	日時	: 6月26日(月)	16:00～17:00
		会場	: オンライン開催	
◇企業部会幹事会	(6月度)	日時	: 6月7日(水)	17:00～18:00
		会場	: 事務局+オンライン開催	
◇PR業部会幹事会	(6月度)	日時	: 6月20日(火)	16:00～17:00
		会場	: オンライン開催	

理事長挨拶



公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会 理事長
牧口 征弘 ((株)電通 PR コンサルティング 代表取締役社長執行役員)

平素より協会の活動に関し御協力を賜り、誠にありがとうございます。今年も厳しい暑さが予想される季節となっておりましたが、何よりも皆様の御健康をお祈り申し上げます。

さて、一説によりますと、人類は疫病を克服するたびに強くなり、また進化を重ねてきたのだそうです。今回我々が体験してきたここ数年のパンデミックについて、この説は当てはまるのでしょうか？様々な考え方があるとは思いますが、私個人としては、確実に強くなり進化したと信じたいところです。

特に、人間同士のコミュニケーションのありようという側面では、進化とまでは言わぬまでも、新しい態様の出現、それに対する適応、はたまた予期せぬトラブルや不具合等々を通過することによって、私たちの種は何かしらの変化を遂げているはずで

す。もしそうであるとすれば、コミュニケーションを通じて形成されていくそれぞれの関係性も、同時に変容を遂げているはずで

す。この点こそまさに、我々パブリックリレーションズに携わる者たちにとって、無視できない点となります。

何故なら、パブリックリレーションズは「より良い関係づくり」をその営為の根底に置いているからです。時代時代に人々の「関係性」が変わるのであれば、それに即して私たちの仕事の存在意義も変わる。これをもって好機ととらえることに、何ら躊躇を覚えるところではありません。

これまで以上にパブリックリレーションズの本領を発揮し、より良い関係づくり、ひいては、より良い社会づくりに貢献する可能性が拡大しつつある瞬間に今を位置づけることができる。そのような確信と共に、この御挨拶文を締めさせて頂きたいと存じます。

末筆とはなりましたが、皆様からの引き続きのお力添えを切にお願い申し上げます。

新規入会の会員（正会員）のみなさまの「自己紹介」ページです。今回は、6月にご入会いただきました正会員（掲載希望社）をご紹介します。

(株)ネオマーケティング



株式会社ネオマーケティング高橋拓己と申します。

弊社では【“Make everyone Wonderful” 私たちは人の心を満たす商品・サービスがあふれる社会を目指している】というビジョンを掲げ、日々マーケティングリサーチ（＝生活者の声）を起点に様々なソリューションを提供しております。

昨今、PR領域の提案ニーズの高まりや求められるPR視点でのコミュニケーションなど、これから効果的な広報活動を提案していく上で、PRSJ様主催のセミナー参加や会員の皆様との意見交換などを積極的に行っていきたい所存です。

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

第12回「通常総会」「懇親パーティ」開催報告

第12回通常総会が、6月15日（木）午後4時から、東京都千代田区の如水会館「スターホール」で開催されました。

令和4年度3月末の議決権数は正会員358名で、出席者25名、議決権行使書提出者198名、合計223名。定足数の179名を超え、総会は成立しました。

総会では、次の2つの議案の審議と2つの報告が行われ、議案事項は全て承認されました。会員の皆様、関係者の皆様、またご協力いただきました皆様に心よりお礼申し上げます。

【議案審議】

第1号議案 令和4年度事業報告承認の件

第2号議案 令和4年度収支決算報告

並びに監査報告承認の件

【報告事項】

第1号報告 令和5年度事業計画について

第2号報告 令和5年度収支予算について



Attention (お知らせ)

午後 5 時 30 分からは、同会場において懇親パーティが行われました。こちらも 87 名（招待者含む）の参加者を迎え、大変な盛会でした。

パーティ席上では、現執行部紹介と関西事務局の新体制の説明が行われ、会場のいたるところで PR パーソン同士の話がはずむ中、盛況のうちに閉会しました。



会員の皆様、関係者の皆様、またご協力いただきました皆様に心よりお礼申し上げますとともに、今年度も何卒よろしくお願い申し上げます。

「2023 PUBLIC RELATIONS YEARBOOK」

発行しました

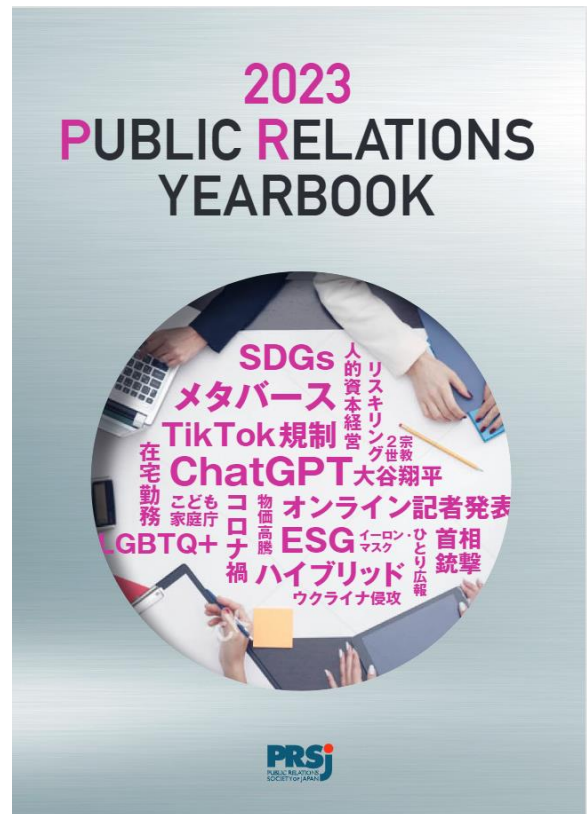
広報委員会

今年度は、今この時代に「紙」で発行することの意味を改めて問い直した結果の一つとして、誌名を一部改訂して「PUBLIC RELATIONS YEARBOOK」とし、より年鑑らしさを示すタイトルとしました。内容においても年毎のアーカイブ機能を重視して、ファクトやデータをできるだけ収録する方針としました。直近1年間のパブリックリレーションズを取り巻く環境や話題をレビューしつつ、“パブリックリレーションズの今とこれから”を考えるヒントになれば幸いです。

会員の皆様におかれましては、まずは一度お手にとって開いていただき、率直なご意見・ご感想をお寄せいただきますよう、お願い申し上げます。

「2023 PUBLIC RELATIONS YEARBOOK」の主な内容は以下の通り

- ・座談会「パブリックリレーションズ、この1年」
エイレックス代表取締役兼 CEO: 江良俊郎 / 良品計画 広報・IR・ESG 推進部長: 坂本香織 / 本田事務所代表取締役: 本田哲也 / サニーサイドアップ取締役: 松本理永 [ゲスト] 宣伝会議月刊『広報会議』編集長: 浦野有代
- ・インタビュー「ChatGPT の出現で、ビジネスや自分自身を初期化する必要性が生じる」
株式会社 ELYZA 取締役 CMO 野口竜司
- ・DATA & TOPICS
「“ひとり広報” 実態調査」報告
「2023 年「PR 業実態調査」報告
- ・PR アワードグランプリ 2022 受賞事例紹介
- ・2022 年度日本 PR 大賞
- ・2022 年度 PRSJ 活動報告 等



「PUBLIC RELATIONS YEARBOOK」は、PRSJ の正会員、個人会員には一冊ずつ配布される他、希望する方には 1000 円（税込）で販売しておりますので、ご関心のある方は PRSJ 事務局までお問い合わせください。

パブリックリレーションズ実務講座 2023

「ニュースリリース入門ワークショップ」を6月23日に開講

～演習を交えた新任者向け実践講座～

教育委員会

協会では、パブリックリレーションズ実務講座の入門プログラムとして、「ニュースリリース入門ワークショップ『実践！新任広報担当者のためのニュースリリース作成と活用』」をAP虎ノ門にて6月23日に対面開講します。

本講座は、新入社や異動により新たに着任した比較的経験の浅い広報・PR実務者を対象として、講義と演習を通じてニュースリリースの作成と活用の基本を学んでいただくことを目的とします。研修効果を高めるための演習を交えた実践講座として開講し、すでにオンライン開講している「パブリックリレーションズ入門Web講座」とともに受講することにより、パブリックリレーションズの基本をより深く身に着けることができます。

本講座のテーマとするニュースリリースは、広報・PRツールのなかでもっとも基本的かつ重要です。ニュースリリースはメディアやさまざまなステークホルダーに企業・団体の決定や意思を伝える「ビジネス文書」。組織の正式な承認のもとに発行される重要文書であり、企業・団体はその内容に責任を持たねばならず、間違いは許されません。

ニュースリリースは広報・PR活動の基本であり、その作成には一定のルールやポイントが存在します。企業・団体で広報・PRにかかわる担当者は実務の基本として、そのルールやポイントをしっかりマスターして作成にあたらねばなりません。

また、ネットの普及を背景に大きく変わったメディア環境。単にメディアへの情報提供にとどまることなく、さまざまなネットメディアが混在する情報環境における活用は、より効果の高いステークホルダーとのコミュニケーションにつながります。

本講座では、ニュースリリースの作成、活用に経験の深いベテラン講師をお招きします。今回は、ニュースリリースサンプルや記事化の実例をもとにした実践的な内容の講義のほか、会場での対面講座ならではのワークショップも実施し、ニュースリリース作成スキルを習得します。また従来メディアとネットメディアが混在する状況における戦略的ニュースリリース活用についても学びます。

なお、本講座は、ニュースリリースの作成を課題とする「PRSJ認定PRプランナー3次試験」の受験にも役立ちます。ニュースリリースの基本をマスターし、3次試験受験を検討されるみなさまにも、受講をお勧めいたします。

ニュースリリースの作成と活用を学ぶ本講座。広報・PR実務に携わるみなさまの受講をお待ちします。

なお、本講座の詳細及び受講お申込みについては、下記の協会Webサイト 講座案内ページをご覧ください。

<https://prs.j.or.jp/event/newsrelease2023/>

(事務局 真部)

パブリックリレーションズ実務講座 2023

「メディアリレーションズ入門ワークショップ」

7月6日に対面講座として開講

教育委員会

協会では、パブリックリレーションズ実務講座の入門プログラムとして、「メディアリレーションズ入門ワークショップ『新任広報担当者のためのメディアリレーションズ～現場の疑問に答えるメディア対応の実践入門～』」を六本木アカデミーヒルズにて7月6日に対面開講します。

本講座では、新入社や異動により新たに着任した比較的経験の浅い広報・PR実務者のみなさまに、講義と演習を通じてメディアリレーションズの基本を学んでいただきます。先に開講する「ニュースリリース入門ワークショップ」と同様に対面講座としており、受講されるみなさまはパブリックリレーションズ実務の基本を体得することができます。

日々のニュースや娯楽などの番組を放送する「テレビ」、高い信頼性のもとに社会、経済などさまざまな情報を伝える「新聞」、工夫されたデザイン、表現を通じて人々の興味にマッチするさまざまなトピックを伝える「雑誌」、そしてニュースや音楽などを音声で提供する「ラジオ」など、私たちの日常はこれらの「マスメディア」による情報で溢れています。

コミュニケーションを通じて目的の達成、課題の解決をめざすパブリックリレーションズにおいて、マスメディアは重要な役割を果たしています。ただ、ネットの普及を背景にメディア環境が変化した現在、パブリックリレーションズには新たな考え方と手法が求められます。

新旧メディアが混在しデジタルが影響力を高めたとはいえ、デジタルな手法をマスターするだけでは広報担当者として十分とはいえません。何よりもまずテレビや新聞などさまざまなマスメディアに関する知識を習得してその特性を理解し、記者や編集者との良好な関係を構築すること。そのうえで多様なメディアを組み合わせ効果的に活用する考え方と手法を身につけることが重要です。

広報担当者は、メディア対応の現場でさまざまな疑問にぶつかります。失敗しないメディアコンタクト、有力記者と知り合う秘訣は？ 日経と読売の違いは？ 日経の〇〇エディターって？ 記者クラブって何？ 経済部記者はどうやって取材しているの？ テレビ局の経済部記者ってどこにいるの？ 日経は夕方18時にスクープ報道しているの？ 記者の皆さんとSNSで繋がりたい！ 取材現場に潜むリスクとは？ テレビ局の制作担当者にはどうやってアプローチしているの？ 経済記事ってどうやって編集させて成立するの？ 整理部記者って何する人？ 日経には経済部がないって本当？ 雑誌が売れていないけどもう影響力はないの？ ライターとジャーナリストの違いは？ などなど。

本講座では、メディアリレーションズに経験豊富な講師が現場からの疑問解決に向けたポイントを解説、さらに受講者のみなさまにはワークショップを通じてメディア対応のポイントを体得いただきます。

本講座の詳細及び受講お申込みについては、下記の協会 Web サイト 講座案内ページをご覧ください。

<https://prsj.or.jp/event/media2023/>

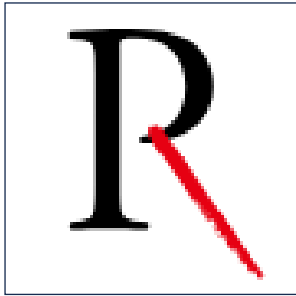
(事務局 真部)

パブリックリレーションズ実務講座 2023

「PRプランナー試験対策講座」を通年開講中

教育委員会

協会では、PRSJ 認定PRプランナー試験を受験するみなさまをサポートする「PRプランナー試験対策講座」をオンデマンド方式のWeb講座として通年開講しています。



PRプランナー資格認定制度は、2007年に日本パブリックリレーションズ協会が設立した日本で唯一の広報・PR資格認定制度です。総合的な基本知識を問う1次試験、専門領域別に知識を問う2次試験、さらに実務的な企画力を問う3次試験の3段階の試験で構成されています。それぞれの試験に合格することにより、「PRプランナー補」「准PRプランナー」「PRプランナー」の資格を取得でき、広報関係者のみならず、広く認知されてきました。

「PRプランナー試験対策講座」は、1次から3次までの試験別に開講しており、それぞれの試験の合格に求められるポイントを、PRプランナー資格を取得したベテラン講師がわかりやすく解説しています。

また、本講座はインターネットを生かしたオンデマンド方式を採用しており、受講期間内であればパソコンやスマホを使用して時と場所を選ばず履修することができます。このため、地方在住のみなさま、業務でご多忙なみなさまもフレキシブルに受験準備に取り組むことが可能です。

本講座は、PRプランナー試験の合格をめざすみなさまを支援するもっとも効果的な受験対策です。PRプランナーを志すみなさまの受講をお待ちします。

なお、講座の詳細ならびにお申込みは、下記表中の講座案内ページをご覧ください。

講座	内容	受講料 (協会会員料金・税込み)
1次試験 対策講座	パブリックリレーションズにかかわる幅広い分野を平易に解説し、1次試験の合格に必要な知識の習得を図る講座。 (講座 URL) https://prsj.or.jp/event/1st-2021late/	19,800 円
2次試験 対策講座	パブリックリレーションズにかかわる専門分野を平易に解説し、2次試験の合格に必要な知識の習得を図る講座。 (講座 URL) https://prsj.or.jp/event/2nd-2019/	全科目受講 33,000 円 1科目受講 3,300 円
3次試験 対策講座	3次試験の課題となる企画書作成、ニュースリリースの作成、広報・PR計画の立案作成(マーケティングおよびコーポレート)などのテーマについて、講義と演習を通じて合格に必要な知識とスキルを習得する試験対策の実践講座。 (講座 URL) https://prsj.or.jp/event/3rd-examination/	総合コース 35,200 円 コーポレートコース 29,700 円 マーケティングコース 29,700 円

(事務局 真部)

PRプランナー資格認定制度／検定試験

第34回1次試験 申込み受付中

—試験期間は、8月12日(土)～27日(日)まで—

資格委員会

2023年度後期(第34回)1次試験のお申込み受付を6月1日(木)より開始しました。

第34回1次試験はCBT方式で、試験期間は8月12日(土)～8月27日(日)の16日間で実施します。本1次試験は広報・PRに関する基本的な知識を問う出題となり、これまでに14,695名が受験し、10,988名が合格しております。

ぜひ受験をご検討いただければ幸いです。

- 全国に開設されたテストセンターで、PCを使って受験していただきます。
- 16日間の試験期間で、ご都合のよい日時・会場を選択できます。
- 受験料のお支払いはクレジットカード払い、コンビニ払い、Pay-easy(ネットバンキング)からお選びください。(手数料は無料です)
- 今回は定員の制限なくお申込み可能ですが、ご希望の日時・会場が先約で埋まってしまう場合もありますので、お早めにお申込みください。

【1次試験 お申込みから合否通知までの流れ】



【PRプランナー資格認定制度／検定制度 第34回1次試験 実施概要】

試験期間	2023年8月12日(土)～8月27日(日)
仮申込み期間	2023年6月1日(木)正午～2023年7月28日(金)23:59まで ※PRプランナー資格制度Webサイトでのお申込みとなります。 (本申込に必要な受験コードを取得)
本申込み期間	2023年6月1日(木)正午～2023年8月4日(金)23:59まで ※CBTS Webサイトにユーザー登録後、同サイトでの本申込みとなります。 (受験日時・会場選択、受験料のお支払い)
合否発表	2023年9月6日(水)正午
試験出題数／試験時間	50問／80分
合格基準	全出題数に対して正答率70%以上で合格
対応公式テキスト	広報・PR概説(2023年度版)

試験スケジュール等、詳細につきましては、下記のPRプランナー資格制度Webサイトでご確認ください。よろしくお願いいたします。

PRプランナー資格制度Webサイト：<https://pr-shikaku.prsj.or.jp/>



【会員限定】**第 49 回PRスキル研究会開催報告
最新危機事例・炎上事例から学ぶ危機管理広報****PR業部会**

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会（PRSJ）PR業部会では、PR業に携わる方のPR業務ならびにコミュニケーションスキルの向上を目的とし、“明日の仕事から使える知識を身につける”をコンセプトに「PRスキル研究会」を年に3～4回開催しています。幅広い業界から講師をお招きし、研修だけでなく意見交換の場としても活用できると、毎回好評を博しています。

第49回「PRスキル研究会」は「最新危機事例・炎上事例から学ぶ危機管理広報」をテーマに、2023年5月16日（水）にオンライン形式で開催。デジタルリスク、Webリスクマネジメントに詳しい株式会社エルテス 奥村高大氏をゲストにお迎えし、モデレーターは株式会社エイレックスの西田貴統氏が務めました。

調査レポート

PR業売上高(2022年度)は推計1,479億円 コロナ禍の前回(2020年度)に比べて33.1%の伸び ～2023年「PR業実態調査」の結果を発表～

PR業部会

PR業部会は、このほど「PR業実態調査」を行い、結果を公表しました。

本調査は、PR業各社の業務傾向などから業界の最新の潮流を探るとともに、PR業全体の売上規模を推計(※1)することを目的に隔年で実施しているもので、今回で通算9回目となります。

調査対象社は、PR業とPR関連業の当協会会員社(206社)および非会員社(25社)の合計231社で、57社から回答が得られました。有効回収率は24.7%。

PR業全体の売上高(2022年度)は推計で約1,479億円となり、前回調査(※2)の約1,111億円を大きく上回る結果となりました。前回から約368億円、約33ポイント伸びており、コロナ禍によるダメージから回復し、PR市場が拡大傾向にあることを示しています。ちなみに、コロナ禍以前の前々回調査(2019年実施)との比較では14.7%の伸びとなっています。

- ※1 回答が得られた各社の売上高合計を基に、PR業各社の従業員数(中央値)などを勘案してPR業全体の売上高を推計しています。
- ※2 調査実施:2021年、対象期:2020年度

調査結果の概要は以下のとおりです。

< 記 >

2023年「PR業実態調査」

- ・調査対象 : 日本パブリックリレーションズ協会の会員企業206社
非会員企業25社、計231社
- ・調査方法 : 郵送法
- ・回収率 : 24.7%
- ・調査実施時期:2023年3月
- ・調査実施機関:株式会社ハミングバード

< PR会社の社員・採用について >

- PR会社の平均従業員数は85.2人(前回は84.7人)
ただし小規模会社が多いため中央値は20人
- 従業員の男女構成比は男性51:女性49で、女性比率が前回より若干下回った
- 管理職における女性比率は平均で36.7%
- 2023年春の予定採用人数は平均で8.5人。前回(3.9人)から倍以上増加

<今後の見通し（売上・景況感）>カッコ内は前回

- 58%が売上が増加傾向にあると回答、前回（49%）に比べて明るい見通し。
- 現在の景況感は19%（前回11%）が「よい」と回答。低いとはいえコロナ後の回復の兆しが見える。
今後の見通しは、「現在よりもよくなる」が47%で最多。「変わらない・横ばい」が32%、「現在より悪くなる」は7%で、景気の先行きについては楽観論が優勢に。

<取り扱い業務について>

● 広報・PR業務の取り扱い上位項目（複数回答）

パブリシティ企画・実施	79%
（リアルでの）記者発表会/PRイベントの企画・運営	74%
マスコミ対応	72%
リテナーでのPRコンサルティング業務	70%
モニター・クリッピング作業	65%
（オンラインでの）記者発表会/PRイベントの企画・運営	65%
オウンドメディアやソーシャルメディアの企画・運営	63%
情報収集分析	61%
動画の制作・プロモーション	60%
（リアルでの）セミナー・シンポジウムの企画・運営	60%
編集タイアップ広告	60%

・取り扱い上位項目では、パブリシティ業務やマスコミ対応業務などが中心的業務となっていることには変わりはないが、前回は上位に入らなかった動画制作が目立っている。

● 今後、ニーズが増える業務トップ10（複数回答）

SDGs/ESG投資関連コミュニケーション業務	61%
オウンドメディアやソーシャルメディアの企画・運営	58%
インフルエンサーを活用したコミュニケーション	56%
動画の制作・プロモーション	51%
ダイバーシティ/インクルージョン関連コミュニケーション業務	51%
CSR/CSV関連コミュニケーション業務	46%
グローバル広報	46%
インフルエンサー向けイベントの企画・運営	42%
広報・PR効果測定業務	40%
パブリシティ企画実施	39%
マーケティングコンサルティング業務	39%
情報収集分析	39%

● 前回からの伸びの目立つ、ニーズが増える業務トップ10 (複数回答、伸び率)

ダイバーシティ/インクルージョン関連コミュニケーション業務	+21%
一般消費者向けイベントの企画・運営	+20%
グローバル広報	+20%
(リアルでの) 記者発表会/PRイベントの企画・運営	+18%
(リアルでの) セミナー・シンポジウムの企画・運営	+17%
インフルエンサー向けイベントの企画・運営	+15%
広報・PR効果測定業務	+13%
CSR/CSV関連コミュニケーション業務	+12%
マスコミ対応	+11%
リテナーでのPRコンサルティング業務	+11%

・ニーズ増加項目では、SDGs/ESG、ダイバーシティ/インクルージョン、CSR/CSVなどの社会課題対応に関する業務や、コロナ後を見据えたリアルでの記者発表会・イベントなどに対するニーズの増加が今後見込まれている。

<広報・PR業務の重点課題/経営課題>

● 広報・PR業務の重点課題

広報・PR業務を進める上で今後の重点課題は、「人材育成・確保」「新しい広報・PR手法の開発」「業務そのものの質的向上」が上位を占めている。ただし、前回との比較でみるとPR手法の開発やサービスの多様化が前回よりも下がっているのに対して、質的向上や優良なアウトソーシング先の確保は増えており、業務の種類・量よりも質の向上をより重視していることがうかがえる。

(複数回答、カッコ内は前回)

人材育成・確保	72% (70%)
新しい広報・PR手法の開発	58% (65%)
業務そのものの質的向上	54% (41%)
優良な協力会社・外注先の確保	51% (45%)
広報・PR効果測定方法の開発	47% (36%)
サービス内容の多様化	44% (51%)

● 経営の重点課題

企業経営における重点課題については、「売上拡大」「社員のモチベーションアップ」「即戦力の中途採用者の確保」の順となっている。前回との比較では、「売上拡大」が下がっているのに対して、社員のモチベーションや働き方、人材確保など、人的資産の充実を課題として重視していることがうかがえる。

(複数回答、カッコ内は前回)

売上拡大	67% (77%)
社員のモチベーションアップ	65% (57%)
即戦力の中途採用者の確保	51% (33%)
働き方改革	51% (45%)
経営者の後継者育成	32% (26%)
※新卒者の確保 (順位は9位だが大きく増えている)	19% (4%)

以上

※調査結果の詳細は協会サイトをご覧ください。

<https://prs.j.or.jp/association/wp-content/uploads/2023/05/PRreport2023.pdf>

協会掲載記

● 6月1日(木) 『広報会議』(株式会社宣伝会議)

『広報会議』7月号における当協会の連載コラムで、3月に実施した「PR業実態調査」について記事掲載されました。

コラムでは、本調査の実施目的、通算9回目を迎える本調査の実施概要にまず触れ、2022年度のPR業全体の売上高推計が1479億円に達し前回2022年度の1111億円を大きく上回る結果となることが紹介されました。さらにPR会社の平均従業員数、取扱業務の現状と今後、重点課題など調査結果についてその一部が掲載されています。

● 5月29日(月) 『週刊企業と広告(東京)』(株式会社チャンネル)

『週刊企業と広告』5月29日号において、当協会が実施した「PR業実態調査」について記事掲載されました。

記事では、2022年度のPR業の推計売上高が1479億円に達し、2019年度比で114.7%になることが報じられました。さらに調査の概要、今後の売上高の見通しが増加傾向にあるとの回答が多く寄せられたことに触れています。

● 5月29日(月) 『日本事務機新聞(大阪)』(株式会社日本事務機新聞社)

『日本事務機新聞』5月29日号において、当協会が一般企業を対象として実施した「パブリックリレーションズ(広報・PR)業務と人材育成に関する調査」についての記事が掲載されました。

記事では調査の概要をはじめ、企業の広報担当者が広報業務をプロフェッショナル職として位置付ける必要があると考えていることをはじめ、業務の担当部署や業務の内容、広報部門の組織上の位置付けなど調査結果の一部が紹介されています。

[記事協力：株式会社内外切抜通信社]

■ 入退会・変更会員

(5月度理事会承認 ※社名・氏名五十音順)

I. 新入・退会・変更会員 (5月)

①新入会員

- ◇ 正会員 2名 (社名50音順)
- | | | | |
|------|-------------------|------|-----------------------------|
| <企> | 浅野 純平 氏
(6月入会) | 【東京】 | 伊藤忠テクノソリューションズ(株)
広報部 部長 |
| <PR> | 荒池 和史 氏
(6月入会) | 【東京】 | (株)ネオマーケティング 取締役 |

- ◇ 個人会員 4名 (入会月別 氏名50音順)
- | | | |
|-------------------|-------|-------------------------------------|
| 松尾 佳代 氏
(5月入会) | 【東京】 | アステラス製薬(株)
コーポレートアドボカシー&リレーションズ部 |
| 森 孝時 氏
(5月入会) | 【東京】 | TAC(株)
法人マーケティング部 |
| 岩切 正哉 氏
(6月入会) | 【神奈川】 | その他 |
| 篠崎 直人 氏
(6月入会) | 【東京】 | ちふれホールディングス(株)
広報部 広報課 課長 |

②変更者

- ◇ 正会員 3名 (会社名50音順)
- | | | | |
|----------|----|---------|--------------------|
| 岩切 正哉 氏 | から | 古屋 勝英 氏 | 鴻池運輸(株) 広報室 室長代理 |
| 松本 泰二 氏 | から | 安川 誠高 氏 | 損害保険ジャパン(株) 広報部 部長 |
| 永井 正太郎 氏 | から | 山下 浩志 氏 | シダックス(株) 広報室 課長 |

◇ 法人登録会員 (報告) 1名

- | | | | |
|---------|----|----------|--|
| 国友 千鶴 氏 | から | 吉田 真佐浩 氏 | (株)オズマピーアール リレーションズデザイン本部
部リレーションズデザイン5部 部長 |
|---------|----|----------|--|

③退会者

<2023年3月31日付>1名

- | | |
|---------|--|
| 荒川 亜衣 氏 | ビジネスワイヤ・ジャパン(株)
アジア太平洋地域ゼネラルマネージャー兼日本代表 |
|---------|--|

◇個人会員(報告) 1名

渡邊 香織 氏 CTC ひなり(株) 代表取締役社長

<令和5年6月1日からの会員数(※5月11日時点)>

種別	当月合計	内訳	会社数	会員数	前月 (2023年5月)
正会員	会社数	企業	179社	183名	会社数
	334社	PR業	139社	148名	333社
	会員人数	その他(官庁・団体)	16社	16名	会員人数
	347名	(うち関西)	(61社)	(61名)	346名
個人会員	305名	/			302名
准会員	60名				60名
法人登録会員	14名				14名
特別会員	3名				3名
総員数合計	729名				725名
法人賛助会員	1社	1社			



事務局の青田です。

委員会・部会の活動や講座・セミナーに対面コミュニケーションが組み込まれ始めました。少しリハビリ（笑）が必要な感じもありますが、コミュニケーションはやはりリアルが大事と強く思わせられる今日このごろです。

今月のトピックをご紹介します。

■総会後の懇親会に100人超。盛り上がりました！

6月15日（木）の総会はスムーズに完了しました。議決権行使書をしっかりとお送りくださったみなさまのおかげです。ありがとうございました。

それはそれとして（笑）、久しぶりのリアル懇親会は100人超えのご参加により、大いに盛り上がりました！これまでスクリーン越しでしかお目にかかれなかった理事・会員の方々と初めてお会いできたり、経済広報センターや日本広報学会、社会構想大学院大学、「広報会議」のみなさまと直接にお話ができたりと、大変に密度の濃い、有意義な時間となりました。こういう交流こそが協会会員になるメリットなのだとあらためて感じました。今回参加できなかったみなさま、来年は是非お会いしましょう。

■イヤブック、好評です！

「PUBLIC RELATIONS YEARBOOK」と改称して2023版が完成し、会員のみなさまにお送りさせていただきました。ご覧いただいた方から「イイネ。イメージも変わったネ」とお褒めの言葉をいただくなど、なかなか良い反応をいただいています。広報委員会・松本委員長をはじめ編集チームのみなさんと事務局とで結構苦勞して作りましたので、是非ご一読いただきたく、また忌憚のないご意見、ご感想をお聞かせください。

■注目されています。「ひとり広報実態調査」！

昨年来、協会の重点テーマのひとつとして取り組んでいる「ひとり広報」の調査結果がまとまり、リリースされました。広報学会の先生から内容の問い合わせをいただくなど、少しずつ反響が出てきています。今後は、この調査結果を起点としてさらに深堀りをし、協会の施策につなげていく予定です。ご注目ください。

（事務局長 青田）

編集担当より

本誌の内容に関するご意見・希望をお寄せください。

中身の濃い会員誌に育てていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

広報委員会

Eメール mail@prsj.or.jp

※禁転載

公益社団法人日本パブリックレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木 6-2-31 六本木ヒルズノースタワー5F

関西支部 〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島 2-1-27 桜橋千代田ビル 3F